

(平成29年 2月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向) 水産物全般	<p>2月の水産物の総入荷量は、前年同月と比べ、全般に漁獲不振となり、また、営業日数も前年より1日少なかったため、鮮魚、冷凍魚、加工水産物ともに入荷量が下回り、全体で13%下回った。</p> <p>総取扱金額は、前年同月と比べ、冷凍魚は前年並みであったが、鮮魚、加工水産物は大幅に減少し、全体として9%下回った。</p>
(区分別の動向) 鮮 魚	<p>2月の鮮魚の入荷量は、前年同月と比べ、12%下回ったことから、単価は3%上回った。</p> <p>品目別には、天然まだい、水かれい、生ずわいがには入荷が増加したため、単価は値下がりした。あまだい、ひらめ、さわら、さごし等は入荷が下回ったため、単価は値上がりした。</p> <p>3月になると、ます(降海型)が産卵のため外洋から湾内に入り、河川に遡上する時期となり、他にしろうお、のれそれ、子持ちいいだこ等が旬となる。</p> <p>また、3月20日にずわいがに(オス)の漁が終了となるため、最期にかにの味覚を堪能していただきたい。</p>
冷 凍 魚	<p>2月の冷凍魚の入荷量は、前年同月と比べ、6%下回ったことから、単価は6%上回った。</p> <p>品目別には、主要魚種の冷えびは、昨年秋以降値上がりしているため、需要が低下し、入荷が大きく下回った。冷銀さけは、生産量の減少から単価が値上がりしたが、荷動き良く、入荷は上回った。冷あかうおは単価が値下がりしたため、入荷は上回った。</p> <p>3月の輸入冷凍魚は、引き続き海外の需要が旺盛であるため、単価は現状のまま続くことが予想される。</p>

加工水産物	<p>2月の加工水産物の入荷量は、前年同月と比べ、17%下回ったことから、単価は4%上回った。</p> <p>品目別には、塩さば、開干さんま、開干あじ、丸干ししゃも、干水かれいは入荷が減少したため、単価は値上がりとなった。ゆでたこは前年並みの単価であったが、荷動き良く、入荷が増加した。</p> <p>3月は、この時期定番となるくぎ煮の原料であるいかなご漁が解禁となる。また、大振りによく肥えたほたるいかがが取れる富山湾内の漁も本格化するが、いずれも去年は不漁であったため、今年好漁となることを期待したい。</p>
-------	---

※生鮮魚：鮮魚，貝類，淡水魚

※冷凍魚：冷凍魚（鯨肉を除く）

品 目	市 況 の 概 要
(鮮魚主要品目)	
ま あ じ	長崎，愛媛で水揚げされたもの主体の入荷で，入荷量は前年同月と比べ18%下回ったが，中～小型サイズが主体であったことから，単価は6%下回った。
ま い わ し	三重，兵庫で水揚げされたもの主体の入荷で，入荷量は前年同月と比べ26%下回ったため，単価は13%上回った。
さ ば	静岡，三重で水揚げされたもの主体の入荷で，入荷量は前年同月と比べ14%下回ったため，単価は10%上回った。
す る め い か	長崎，富山で水揚げされたもの主体の入荷で，入荷量は前年同月と比べ56%下回ったため，単価は48%上回った。
太 物	入荷量は前年同月と比べ，本まぐろは9%，めばちまぐろが21%，きはだまぐろが23%下回り，太物類の総入荷量は17%下回ったため，単価は5%上回った。
よ こ わ	長崎，京都で水揚げされたもの主体の入荷で，入荷量は前年同月と比べ10%上回ったため，単価は15%下回った。
ぶ り	鹿児島，長崎で水揚げされたもの主体の入荷で，入荷量は前年同月と比べ2%上回ったため，単価は3%下回った。
(冷凍魚主要品目)	
冷 さ ば	国内外ともに原料となる大型サイズの漁獲が少なく，入荷量は前年同月と比べ34%下回ったため，単価は12%上回った。
冷 す る め い か	入荷量は前年同月と比べ39%下回ったため，単価は73%上回った。
(加工水産物主要品目)	
塩 さ け	入荷量は前年同月と比べ，塩紅さけは3%，塩銀さけは14%下回り，塩さけの総入荷量は前年同月と比べ8%下回ったため，単価は5%上回った。

すけそうこ	入荷量は前年同月と比べ28%下回ったが、荷動き悪く、単価は8%下回った。
-------	--------------------------------------